

学校法人秋桜会
2020年度 事業報告書

(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

〈学習者数〉

学習者数	2020/5/1/	2021/5/1/	増減
専門課程学生数	133	68	-65
通信制高校 KG 高等学院	17	25	+8
日本語教師養成講座	12	19	+7
Superkids 教育付き学童	24	41	+17
計：	186	153	-33

※新規留学生は、新型コロナウイルス感染症による入国制限のため4月・10月・4月と3期ともゼロ。

学外講師派遣・学内講座・調査

出講先	2020年度	内容
松本大学	パソコン・マナー	講師7名のベクラス数 233 コマ
長野県農業大学	コミュニケーション論	集中講義 16 コマ
専各連出前講座	ビジネスマナー	9 回
ポリテクセンター	パソコン (ホームページ作成)	6 時間 (4 名)
松本市役所	パソコン研修	6 時間 (21 名)
松本市役所	接遇調査 (窓口対応・電話対応)	20 箇所
(株)五千尺	パソコン・語学研修	英語・フランス語・パソコン
講演・委託研修	松本市役所 (5)・朝日村役場(3)・丸の内病院(1)・少年刑務所(2)・中央図書館(1)・ながぎん会(1)	13 講座

※新型コロナウイルス感染症により中止になったものが多く、上記は実績のみ。

月日	内 容	場 所
4月1日(水)	第1回 評議員会	丸の内ビジネス専門学校
4月9日(木)	入学式 (ご来賓を呼ばず学生と教職員のみ)	ホテルブエナビスタ
4月9日(木)	懇親会中止	
4月10日(金)	専門課程授業開始 (オリエンテーション)	丸の内ビジネス専門学校
4月11日(土)	プログラミング講座・日本語教師養成講座開講式	

4月13日(月)	コロナ感染症対策下での授業開始	
4月15日(水)	評議員会にてコロナ対策、休校検討	丸の内ビジネス専門学校
4月17日(金)	松本地区がレベル2となり、休校を決定	
4月27日(月)	分散登校開始	
5月7日(金)	小クラスにわけて通常授業開始 留学生への生活支援金、支援品給付開始	
5月26日(火)	第2回理事・監事会 (WEB 決議)	
6月6日(土)	オープンキャンパス	丸の内ビジネス専門学校
6月25日(木)	第3回理事・監事会 (書面決議)	
7月4日(土)	オープンキャンパス	丸の内ビジネス専門学校
8月1日(土)	オープンキャンパス	丸の内ビジネス専門学校
9月5日(土)	オープンキャンパス	丸の内ビジネス専門学校
9月30日(月)	前期課程終了 (卒業式まで補講授業継続)	
10月11日(火)	10月生 授業開始 (オリエンテーション)	
10月18日(日)	10月生卒業式 (学内関係者のみ出席)	まつもと市民芸術館
10月21日(水)	松本警察署員による法令遵守・生活安全教育	丸の内ビジネス専門学校
11月7日(土)	オープンキャンパス	丸の内ビジネス専門学校
12月5日(土)	オープンキャンパス	丸の内ビジネス専門学校
12月26日(土)	松商学園高校生との国際交流会	丸の内ビジネス専門学校
3月5日(金)	2020年度卒業式	まつもと市民芸術館

2020年度は、新型コロナウイルスのため、新学期から入学式そのものの実施が危ぶまれた幕開けであった。結果的には、ひとりの感染者を出すこともなく、教育を継続実施できた。

<問題点と対策>

新型コロナウイルスの感染防止

授業の実施

行事の見直し

困窮に陥った学生の救済

◇カリキュラムをすべて実施できるかどうかについて検討を重ねたが、対策を講じつつ、すべてのカリキュラムの実施を目標とした。

感染対策としては、下記を実行し、結果としては1週間の完全休校はあったものの、予定の授業の実施をすることができた。

毎朝の学生、教職員の体温や体調の管理、手指の消毒

体調不良者には、念のため校医の須澤先生と連絡をとり、アドバイスを得る。

全員マスク着用・教師のフェイスシールド着用

教室内の換気、分散登校や教室を分室、教室内の座席の距離をとる

松本市発表の感染状況により、対策の見直し

◇行事の見直しについて

入学式・・・原則として学生と教職員のみ、新入生については家族の出席を可とする。

ホテルブエナビスタにて、実施。

卒業式・・・10月生卒業式　まつもと市民芸術館大ホール

4月生卒業式　まつもと市民芸術館小ホール

原則として学生と教職員、卒業生の家族のみとする。

祝賀ステージは歌、演奏、大人数の登場をさげ、フィナーレ以外はステージ上には、少人数だけが登壇することにした。

スクリーンへの映像投影を多くした。

バスハイク・・・県を超えての移動を自粛するために中止とし、2年生はコロナ感染の危険のないときに、ホテルブエナビスタにおいて「テーブルマナー」を実施。

オープンキャンパス・・・対面オープンキャンパスとオンラインオープンキャンパスを用意し、どちらも同じ情報を伝えられるようにした。また、オープンキャンパス時のお茶やお菓子については、ペットボトルと紙コップにし、それ以外の飲食はできないようにした。結果的には、オンラインオープンキャンパスを希望する人はいなかったが、コロナ禍にもあり、継続してオンラインオープンキャンパスは実施する。

国際交流会・・・当初予定していた日程が、コロナ禍のため延期となったが、年末になり、感染状況が好転したところで、松商学園のインターアクト部の生徒たちと、交流会が実現した。高校生も丸の内の学生も、それぞれが魅力的なプレゼンを行い、数名ずつのグループになって意見交換を行い、今後も継続することを約束した。

◇困窮学生の救済

一般からの寄付金、およびクラウドファンディングにて寄附金を募り、収入減となった学生へ生活支援金を給付。

報道にも協力を要請し、記事として掲載。多くの方が支援品を届けてくれた。

5月より毎週、米・カップラーメン・パスタ・菓子・生活用品等を配布し、年度末まで続いた。